

Title	Omoituita mama IV
Author(s)	福原, 満洲雄
Citation	全国紙上数学談話会. 40 p.1-p.7
Issue Date	1935-05-07
oaire:version	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74049
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

127. *Omoutita mama* IV

福原満洲雄 (北大)

*Iroirona Jugô de Hude wo toru Hima ga
nakatta node daibu gobusata site simatta.
Kondo Bibunhôteisikiron no Kôgi wo suru
node sono Genkô wo kaite iru to gûzen
Atama ni ukanda no ga kore kara no
beyô to suru Kotogara de aru.*

— 6 —

常微分方程式ノ解ノ單獨條件ヲ求メトイフ問題ハ南雲氏
ノ研究 (日本數學輯報, 1926) 以來特ニ我國ニ於テ盛ニ研
究サレタ。始メノ間ハ特殊ナ形ノ單獨條件ヲ求メテキタノデ
アルガ、ソノ條件ヲ次第ニ擴張シヨウトスル企テが行ハレ、
自然ニ系統的ナ研究ニ發展シテ行ツタ、ソレデ今日デハ此ノ
問題ハ落付クベキ所ニ落付イタヌウニ思ハレルノデアラウカ、
兎ニ角數年來コノ方面ニ目新シイ研究ガ現ハレナクナツタ、
實ハ私モ此ノ問題ニ格別ノ注意ヲ拂ハナイヌウニナツタノデ
アル、ソレヲココニ再ビ問題ニシヨウトスル理由ハ次ノ例デ
了解サレルデアラウト思フ。

$$(1) \quad \frac{dy}{dx} = \sqrt{|y|} + a \quad (a \text{ ハ正ノ常數})$$

ノ解デ $y(x_0) = y_0$ ヲ満足スル解ハ唯一ツデアルコトハ積
 分シナイデモ次ノヤウニ考ヘレバ分ル。 $y_0 \neq 0$ ナラバ (1) ノ
 右辺ハ y_0 ノ近傍デ *Lipschitz* ノ條件ヲ満足スルカラ問
 題ニナラナイ、問題ニナルノハ $y_0 = 0$ ノ時デアアル。ソコデ
 $y = \varphi(x)$, $y = \psi(x)$ ヲ共ニ $y(x_0) = 0$ ヲ満足スル
 (1) ノ解デアルトスル。 (1) ノ右辺ハ常ニ正デアアルカラ其ノ
 解ハ (狭義ノ) 増加函数デ、ソレが取ル値ハ $-\infty$ カラ $+\infty$
 マデ変化スル。

故ニ $\psi(x)$ が定義サレテ居ル區間——ソレハ實ハ
 $-\infty < x < +\infty$ デアル——ノ中ニ x_0 ト異ル任意ノ値 ξ
 ヲ取レバ、 $\varphi(\xi') = \psi(\xi)$ デアルヤウナ ξ' が唯一ツ存在
 スル。 $y = \varphi(x + \xi' - \xi)$ ハ $y(\xi) = \psi(\xi)$ ヲ満足スル
 (1) ノ解デ $x_0 \neq \xi$ ナル假定ニヨリ $\psi(\xi) \neq 0$ デアルカラ、
 解ノ單獨性ニヨリ ξ ヲ含ミ且ツ $\psi(x) \neq 0$ デアルヤウナ
 區間デ

$$\varphi(x + \xi' - \xi) = \psi(x)$$

ナル關係が成立スル、ソノ區間ノ中カラ x ヲ x_0 ニ近ヅケル
 コトニヨリ

$$\varphi(x_0 + \xi' - \xi) = \psi(x_0) = 0$$

ヲ得ルカラ $\xi' = \xi$ デナケレバナラナイ。從ツテ $\varphi(x) = \psi(x)$
 トナル。

以上デ (1) ニ關スル解ノ單獨性——モット詳シク言ヘ
 バ「(1) ニ關スル *Cauchy* ノ問題ノ解ノ單獨性」デアアル

が余リキツテ居ルカラ「Cauchy」ノ問題ノ」ハ省略スル—
ハ証明サレタノデアルカ、從來ノ單獨條件ハ(1)ニ應用出來
ナイ、其ノ理由ハ簡單デアル。從來ハ

$$(2) \quad |f(x, y) - f(x, z)| < F(x, y - z)$$

ニ於テFトシテドンナ函数ヲトレバ

$$(3) \quad \frac{dy}{dx} = f(x, y)$$

ニ関スル解ノ單獨性カ得ラレルカラ調べテ居タカラデアル、
此ノヤウニシテ得ラレタ解ノ單獨條件ハ同時ニ

$$(4) \quad \frac{dy}{dx} = f(x, y) + \alpha \quad (\alpha \text{ハ} x \text{ガケノ函数})$$

ニ関スル解ノ單獨條件ニモナル。併シ(1)ノ場合ニハ $\alpha = 0$
トスレバ解ノ單獨性ハ破レル、ココニ我々が見逃シテキタ未
開ノ地域ヲ見出スノデアル。

— 1 —

從來ノモノト異ツタ解ノ單獨條件—— (1)ノヤウナ場
合ニ利用サレル——ノ例ヲ紹介スルコトハ次ノ機會ニ譲
ツテ、コノヤウナ問題ニ到達シタ経路ダケ述ベテ置キタ
イ。

求積法ニ於テハ X, Y ガ夫々 x, y ダケノ函数デアル
時

$$(5) \quad X dx = Y dy$$

ナル微分方程式ノ解ハ

$$(6) \int X dx = \int Y dy + Z y \hat{o} s \hat{u}$$

ナル形 = 書ケルトイフコトハ、ドンナ場合 = 正シイカラ明瞭
ニスルコトヲ急ツテキルヤウ = 見エル、何ノ注意モナシ = (5)
ヲ積分シテ (6)ヲ得ルトイフノハヨクナイ、何故カト云ヘバ
(5)ハ

$$(7) \frac{dy}{dx} = \frac{X}{Y}$$

コ形式的 = 書換ヘタモノ = 過ヤナイカラ、 dx, dy ヲバラ
バラ = 取扱フコトハ出来ナイカラデアアル。ソコデ (5)カラ (6)
ヘ移ル = ハドウスルカト言ヘバ

$$\eta = \int_{y_0}^y Y dy$$

ナル変換ヲ行フノデアアル、其ノ結果 (7)ガ

$$\frac{dy}{dx} = X$$

トナルト言ヘルタメニハ $Y \neq 0$ デアレバヨイ、コレカラ

$$\eta = \int X dx + Z y \hat{o} s \hat{u}$$

ヲ得ル所 = ハ問題ハナイ。故ニ $Y \neq 0$ デアルヤウナ範囲デ
ハ (5)ノ解ハ (6)ナル形 = 書ケルノデアアルカラ、形ノ上デハ
(5)ノ両辺ヲ別々ニ積分シタヤウ = ナルガサウイフ経路デ
(6)ガ得ラレルワケデハナイ、ソナコトハ急ツテキルト言

ハレレバソレマデデアルガ、ソレ程初等的デツマナサウニ
見エル所ニ案外見逃サレ勝チニ重要ニ問題ガヒソンデ居ルノ
デアル。

コノデ注意スベキ事柄ハ $Y \neq 0$ ナラバ (7) ノ解ハ (6) ナル
形ニ書ケル。 従ッテ $y(x_0) = y_0$ ヲ満足スル (7) ノ解ハ唯一
ツニナル トイフコトデアル、所ガ $Y \neq 0$ トイフ假定 ガケナラ
バ從來得ラレタ解ノ單獨條件ヲ満たサナイヌウナ Y が取レ
ル、此ノヌウニシテ前述ノ問題ニ導カレタノデアル、尤モ今
迄ニ解ガ唯一ツデアルタメノ必要且ツ十餘ノ條件ト言ハレル
モノモ得ラレテ居ルガ、其等ハ余リニ漠トシタ結果デ實際ニ
利用出来ナイカラ、ソノヌウナ條件ヲココデ問題ニシテ斗ル
ワケデハナイ。